

Trimble R6 GPS

NEWスタンダード。アップグレード可能なアンテナ一体化型受信機

如何に使い、省力化を推進するか

Trimble R6 GPS受信機は、R-Trackテクノロジーの搭載により、LC2信号捕捉を標準サポートしています。さらにアップグレード(オプション)することにより、GLONASSの受信も可能です。GPSのL2波取得への確実性を高め、より多くの衛星を確実に捕捉することでRTK測量を支援します。Trimble S6との連携により、統合測量(Trimble Integrated Surveying)に対応。データの一元管理で、用途・観測地域に「応じて柔軟な観測が可能です。



より確実に、より使い易く

■L2C対応によりGPS観測の作業効率アップ

新しく標準搭載したL2C信号の捕捉機能によりFIX率の向上が期待できます。

GLONASSをサポートしたTrimble R-Trackテクノロジーを搭載しています。

■将来的な拡張に備えて

アップグレード(オプション)により、GLONASS衛星の捕捉及びデータ取得が可能になります。


「CMRx」フォーマット※対応により圧縮率アップ。衛星が増えても補正情報がパンクしません。

※2010年3月現在、efit+は未対応です。順次対応予定です。

I.S.ローバーによる統合測量

GPS/GNSSとトータルステーションを同一システム上で組み合わせて使えるTrimbleの「統合測量」。それを実現するのが「Trimble I.S.ローバー」です。Trimble S6のターゲット側にGPS受信機をセットすることで、フレキシブルな観測を実現しました。GPS/GNSSとTrimble S6の観測をコントローラーである「TrimbleCU(TCU)」上に搭載している観測アプリケーション「efit+forTCU」※で行い、データを一元管理します。一つのコントローラーを使用することによりデータの共有ができますので、GPSでは広い範囲を世界座標で取得し、そのデータを元にトータルステーションを用いた細部観測を行うなど、測量センサーに左右されない作業が行えます。もちろん取得したデータはGPS・トータルステーションに関わらず測量CADシステム「TOWISE」で後処理が可能です。

※オプションプログラムの「RTK/DGPS観測パッケージ」または「平板観測」が必要です。

| | | | | |
|------------|---|----------------|---------------------------|------------------------|
| 主な スペック |  | 国土地理院1級GPS受信機 | Trimble R-Track テクノロジー | Bluetooth内蔵 |
| | | チャンネル数 72ch | メモリー 内部メモリー 11MB | 本体重量 1.34kg |
| | | 受信衛星数 44衛星 | バッテリー 2個付属 1個挿入可能 | 外形サイズ 19cm × 10.9cm |